国際ロータリー第 2550 地区

黒 磯 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 会 報

国際ロータリー会長:ホルガー・クナーク
第 2550 地区ガバナー: 森本敬三
事務所:〒325-0826 宇都宮市西原町 142
宇都宮グランドホテル内
TEL:028-651-2550
FAX:028-651-2551
E-mail: m2550@agate.plala.or.jp

ロータリーは機会の扉を開く

会　長：大島三千三　幹　事：秋葉秀樹
事務局：株式会社　帝都
代表取締役　秋葉秀樹
〒325-0051　那須塩原市豊町13-9
TEL:0287-62-3131・FAX:0287-62-5455
E-mail:hideki_akiba@akibacorp.com
例　会：国民の祝日を含まない週の水曜日
12:30 - 13:30
割烹石山　那須塩原市本町 5-5

第2920回　大島年度　第31回　会報　2021　05-12　司会　井出法君

会長挨拶　大島三千三会長

皆さんこんにちは、新緑が眩しい爽やかな風薫る季節となりました。気象の変化が激しかったGW、皆さんはいかがお過ごしになられましたでしょうか？

私は、仕事柄休みらしい休みはと取れませんでしたが、限られた時間の中、「嬉しい、楽しい、美味しい」時間を孫たちと共に過ごし、有意義なひと時でした。また、我が家では、毎年5月5日端午の節句には、「柏餅と菖蒲湯」を楽しみます。仕事の合間の柏餅と仕事上がりの菖蒲湯に活力をもらい、「休みがなくともそれはそれで幸せ」と言い聞かせ冷たいBeerでGWを締めます。皆さんのご家庭にも、それぞれの風習は残っていますか？こんなご時世ですが、次世代を担う子供たちへ文化の引継ぎをしていきたいものですね。

さて、話は変わりますが、菅総理大臣が昨年10月26日、第203臨時国会の所信表明演説において、2050年にカーボンニュートラルの実現に向けた対策を始めると表明致しました。

地球温暖化対策にとって重要な技術として、大気中から二酸化炭素を直接、回収するための研究開発が活発になっていて、日本では大型プロジェクトとして、今年度から本格的な研究が始まり、新しい物質や特殊な膜の開発が進められています。国連の専門機関、IPCC＝「気候変動に関する政府間パネル」は、世界の平均気温が19世紀後半と比べて2度上昇すると、多くの人が極端な熱波や日常的な水不足によって深刻な影響を受けると予測していて、1.5度の上昇に抑えることの重要性が広く認識されるようになっています。（現在は、1度上昇していると言われております。）

このため、2050年ごろまでに温室効果ガスである二酸化炭素の排出量を実質的にゼロにすることが必要とされ、実現のための重要な技術として大気中から二酸化炭素を直接、回収する手法の開発が世界的に始まっていて、日本でも3年間で55億円を投じた大型プロジェクトが立ち上がり、今年度から本格的な研究が始まりました。

名古屋大学とガス会社などは共同で、二酸化炭素を吸収する特殊な物質と、今まではほとんど捨てられていた液化天然ガスの「冷熱」と呼ばれる冷たいエネルギーを組み合わせたユニークな手法の開発に取り組んでいるほか、九州大学は極めて薄い膜で二酸化炭素を選択的に取り出す独自の発想で研究を進めています。

いずれも、二酸化炭素を回収する効率をさらに高めて、システム全体の製造と運用の過程ででる二酸化炭素よりも多くの二酸化炭素を回収できるようにすることが課題になります。大気中からの二酸化炭素回収は「最後の切り札」と言われております。私たち一人一

出席報告　出席委員会　田中徹君（出席規定の免除会員数7名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日（5月12日）	37（7）	29（4）	8（3）	85.0%		
前回（4月21日）	37（7）	32（5）	5（2）	91.0%	2	97.0%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076　（以上石山桂子）
メール　ggvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

人に何が出来るのか、地域社会でロータリーでどんな取り組みを重ねていけばいいのか考える時に来ています。

お客さま
黒磯高校ｲﾝﾀｰｱｸﾄｸﾗﾌﾞの皆さん
顧問　和久井瞳先生

幹事報告　秋葉秀樹幹事

第31回幹事報告
　ソーシャルメディア活用オンライン勉強会開催のご案内が届いております。（髙木慶一IT推進委員）

結婚祝

髙木慶一会員　田中徹会員　髙木茂会員

ゴルフ愛好会第3回ゴルフコンペ表彰
ゴルフ愛好会髙木慶一副会長

　4月25日に開催致しました、第3回ゴルフコンペの結果発表を致します。
　優勝は、
前半59、後半52、グロス111、Hdcp19、NET92で秋間忍会員の優勝です。
　次回4回目のゴルフコンペは、6月20日那須国際カントリークラブを予定しておりますので、沢山のご参加をお待ちしております。

委員会報告　植竹一裕副会長

　皆さんこんにちは。報告のある委員会の方は挙手をお願いします。

・村山茂国際奉仕委員長

国際奉仕委員会よりご報告します。2021年国際大会は、コロナ感染症対策により、昨年に引き続きバーチャルにて開催されます。ご家族の皆様とともに積極的にご参加いただき、新しいことを学び、「機会の扉」をお開きください。

バーチャル国際大会のサイトでは、バーチャルラウンジで仲間とのネットワークを広げ、奉仕の新しいパートナーを見つけ、世界中の会員との楽しいアクティビティを楽しむことができます。今回の新しいアクティビティとしては、リーダーとの対話、料理教室、バーチャル写真ブース、5kmウォーク、DJ入りダンスパーティーなどが企画されています。

〇開催期間　令和3年6月12～16日
〇ロータリー国際大会　ICPromo@rotary.org

ニコニコボックス委員会
前田貴宏委員長

植竹一裕会員
田植えがほぼ終わりました。
髙木慶一会員
ゴルフ大会でニアピン3ヶ取ることが出来ました。
瀬尾紀夫会員
コロナが早く終息しますように。
髙木茂会員
早いもので結婚して39年の月日が経ちました。
荒牧明二会員
ワクチン予約取れました。
田中徹会員
何と何と42回目です（結婚）。
鈴木隆子会員
本日は青少年奉仕委員会の卓話で黒磯高校インターアクトの皆様においで頂きました。どうぞよろしくお願いいたします。

本日はボックスに4月までの合計額をお知らせしております。目標達成に向け、ご協力をお願い致します。

卓話
鈴木隆子青少年奉仕委員長

大島年度、青少年奉仕委員会は安藤さん、澤田さん、秋間さん、戸野さんと私鈴木で運営致しております。

コロナの影響もあり様々な行事が中止になったり、行動も多く制約される中ではございますが、黒磯高校インターアクトクラブでは、昨年1人仲間も増え、前向きに活動に取り組んでいます。また、G1 BOOK Actionとしまして、皆様にご協力頂き、自分では読まなくなった本を持ち寄り青少年のために役立てる募金を集めさせて頂き、お陰さまで順調に進められておりますこと、感謝申し上げます。

今年はインターアクト年次大会も当番になっています。ロータリーとしましても広く会員の皆様にもご協力頂いて、有意義な活動を後押し出来ますよう協力して参りたいと思っています。

本日は黒磯高校インターアクトクラブの皆様においで頂き、現在の活動状況等をお話し頂きたいと存じます。

それではご紹介させて頂きます。

3年生　本沢めぐみさん
3年生　廣瀬千法さん
2年生　佐々木結楽さん
顧問　和久井瞳先生

どうぞよろしくお願いいたします。

黒磯高校インターアクトクラブの皆さん

これから、黒磯高校インターアクトクラブの活動報告をします。3年の本沢、同じく3年の廣瀬、2年の佐々木です。よろしくお願いします。

0. 活動概況（2019年5月～2021年4月）

2019年	6月	第17回 高校生RYLAセミナー
2019年	8月	第23回 インターアクト年次大会
2019年	10月	那須塩原駅前一斉清掃
		那須塩原市民マラソン
2019年	11月	那須塩原市民マラソンボランティア
2019年	12月	黒磯駅前キャンドルナイト
		こっこ食堂
2020年	8月	第24回 インターアクト年次大会（オンライン開催）
2021年	5月	第19回 グリーンコンサートにて支援活動

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、昨年黒磯ロータリークラブの例会で活動報告を出来なかったため、一昨年5月以降の活動も合わせて報告したいと思います。

2019年5月から2021年4月までの活動の概況はご覧の通りです。

では順番に説明致します。

1. 第17回 高校生RYLAセミナー(2019年6月)

1. 第17回　高校生RYLAセミナー

一昨年の2019年6月、宇都宮市にて開催された高校生RYLAセミナーに参加しました。本セミナーでは模擬国連の授業が行われ、「ヨーロッパの難民危機」をテーマに議論しました。

模擬国連では、参加者が世界の大使となり、実際の国連会議で扱われている問題などをもとに国連会議を再現します。この活動の目的は、国際社会が抱える問題を理解するとともに、その問題の解決策を探ってみることです。

第17回のセミナーでは、ヨーロッパの難民問題を解決するために、本校インターアクトクラブはアフガニスタンの大使としてスピーチをし、他の国との交渉を進めていきました。

自分の国の利益を追求しながら、他の国々とお互いに協力していくことがどれほど難しいことかを実感しました。また、例え難しい問題だとしても、その問題に目を背けずに考え続けることも大切だと思いました。

1. 第17回 高校生RYLAセミナー

セミナーの最後は、鳥の形をしたビニールにガスを充填し、風船のように空へ飛ばしました。

2. 年次大会（8月）

2019年　第23回　年次大会　於 青藍泰斗高校

2020年　第24回　年次大会（Zoomによるオンライン開催）

2021年　第25回　年次大会（本校がホスト校）

2.　年次大会

8月の年次大会では、黒磯高校インターアクトクラブの活動を報告しています。

2019年8月は、佐野市葛生の青藍泰斗高校で開催された第23回年次大会に参加しました。昨年の8月は、新型コロナ感染拡大防止のため、Zoomによるオンライン開催となりました。

今年は黒磯高校がホスト校となっています。精一杯頑張りたいと思います。

3. 那須塩原駅前一斉清掃、那須塩原市マラソンボランティア（2019年10月）

3. 那須塩原駅前一斉清掃・那須塩原市マラソンボランティア

写真は一昨年10月、那須塩原駅前で一斉清掃した時の様子です。悪天候だったので短い時間でしたが、落ち葉拾いをしました。那須塩原市ハーフマラソンでもボランティアをしています。

4. 黒磯駅前キャンドルナイト(2019年)

4. 黒磯駅前キャンドルナイト

写真は一昨年12月に、黒磯駅前活性化委員会主催の「キャンドルナイト」にボランティアで参加したときのものです。

本校インターアクトクラブは、このイベントに向けてオブジェを作り、イベント当日に完成した作品を展示しました。

このイベントで商店街の方々と交流しているうちに、地域に貢献しているという実感がわいてきました。

5. こっこ食堂(2019年12月)

5. こっこ食堂

12月にはこっこ食堂のクリスマス会に参加しました。

食堂に集まった子どもたちに楽しんでもらえるような、レクリエーションの企画と運営をしました。

6. グリーンコンサート(5月)

- 「東日本大震災」被災地の物産販売
- 「東日本大震災遺児支援募金」の呼びかけ
- テーマ研究
  「復興～東日本大震災を乗り越えて～」

6. グリーンコンサート

先日5月4日みどりの日に、那須塩原市文化会館で、本校吹奏楽部主催のグリーンコンサートが開催されました。

インターアクトクラブは生徒会と協力して、「東日本大震災」被災地の物産販売と、募金活動を行いました。また、震災の復興をテーマに調べ学習を行い、ポスターにまとめてロビーに展示しました。

「東日本大震災」被災地の物産販売

物産販売の様子

この写真は、震災によって甚大な被害を受けたいわきの物産販売を行っているところです。

物産品の袋詰め作業や、販売会場の設営などをお手伝いしました。

「東日本大震災遺児支援募金」の呼びかけ

また、「東日本大震災遺児支援募金」の呼びかけも行いました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災で親を亡くし、現在もケアを必要としている多くの子どもたちを支援することが募金活動の趣旨です。

今回の募金活動でさまざまな方から頂いたご厚意は、あしなが育英会を通じて、震災で親を失った東北の子どもたちを支援する活動に役立てられます。

あしなが育英会
東日本大震災遺児支援事業

「東北レインボーハウス」

- 2014年、仙台・石巻・陸前高田の３ヵ所に設立。
- 震災遺児の心のケア活動

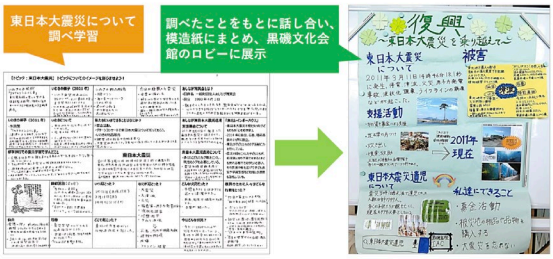
ここで、あしなが育英会の震災遺児支援事業「レインボーハウス」について少し詳しくご紹介したいと思います。

「レインボーハウス」の取り組みは、阪神淡路大震災に遡ります。阪神淡路大震災後、「神戸レインボーハウス」が開設され、本格的に震災遺児の心のケア活動が行われるようになりました。「レインボーハウス」という名前には、震災で親を失った子どもたちの心にかかる「黒い虹」が「七色の虹」になりますように、という強い願いが込められているそうです。

そして、「東北レインボーハウス」は東日本大震災後の2014年に、宮城県仙台市と石巻市、岩手県陸前高田市の3カ所に設立されました。多くの子どもたちがそこで癒やされ成長し、それぞれの目標に向かって進んでいます。

本校インターアクトクラブはこの活動を応援しています。

テーマ研究「復興～東日本大震災を乗り越えて～」



東日本大震災から10年、今回のグリーンコンサートのテーマは、震災の復興祈念でした。そこで、震災について調べて模造紙にまとめました。

上の右側の写真が完成した作品です。グリーンコンサート当日、黒磯文化会館のロビーに展示しました。タイトルは「復興～東日本大震災を乗り越えて～」です。月日の経過と共に東日本大震災の爪痕も見えづらくなりましたが、これからも震災の時のことを忘れずに、被災された方々のために私たちが出来ることは何かを考え、行動していきたいと思います。

最後に、活動計画についてお話しします。

新型コロナウイルスの影響により、今後も活動に制限がかかることが予想されますが、

7. 今後の活動計画

そういった状況の中でも「社会奉仕活動」と「国際交流」を軸に、私たちが出来ることを考え取り組んで行けたらと思います。

一つは、地元地域の視点において、地域に関する知識の理解を図るため、「那須疎水」について課題研究を行う予定です。また、黒磯高校創立100周年も近づいているので、黒磯高校の歴史について調べ、その歴史を紐解いて行きたいと考えています。調査方法は、文献調査や現地調査、インタビュー調査を実施していきたいと思っていますが、詳細はまだ検討中です。

もう一つは、国際的な視点において中村医師についての勉強会を予定しています。皆様もご存じだと思いますが、中村医師はアフガニスタンで長年現地住民の生活環境の改善に尽くしてきた方です。2019年12月に銃撃され、亡くなられてしまいましたが、絵本『カカ・ムラド～ナカムラのおじさん』や映像資料から、中村氏の功績や志を学び、国際的な視野を広げていきたいと思っています。

文化会館に展示された作品（スライドより拡大）

5月12日欠席（敬称略）
檜山達郎・吉光寺政雄・藤﨑善隆・荒井昌一
佐藤博・石山桂子・時庭稔・戸野俊介

前回4月21日分メークアップ（敬称略）
石山桂子・前田貴宏

次回例会　　令和3年5月19日　　担当　SAA

近隣クラブ例会日
○火曜日　西那須野/いとう屋　0287-36-0028
○木曜日　大田原中央/勝田屋記念会館　0287-23-4165

近隣クラブ例会日
○木曜日　大田原/ホテル花月　0287-54-1105
○金曜日　黒羽/ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：藤﨑善隆・稲垣政一・高木茂・田中徹・相馬征志